

1. 第7回研究全体会 次第

<第7回 研究全体会> 職員室スタート

日時：令和5年12月21日（水）14：45～15：45

1. 校長先生からのお話 （校長先生）
2. 全体での確認事項 （研究主任）
 - ①本番までのスケジュール確認と進捗状況
 - ②今日の目的の確認
 - ③分科会提案に向けた研究内容の確認・共有
 - ・研究全体の構造と4分科会の区別と関連
 - ・「表現 or 思考×場面 or 方法」の捉え方
3. 研究分科会
 - ①分科会の提案内容を再確認
 - ・目指す児童像、手立て、これまでの実践の関連
 - ②各自の授業で困っているところはないか？
4. 学年会
 - ①指導案作成と教材研究
5. 全体でのシェアリング （研究主任）
6. 終わりの言葉 （副校長先生）

分科会からは各教室などに分かれていただいで大丈夫です。

研究構造図

2年間の研究の成果をまとめました



子供たちの実態

- △考える力
- △考えを表す力



考えの広がり、深まり
多様な表現方法

社会的な背景

Society 5.0の到来
↓
GIGAスクール構想

研究主題

思考したことを豊かに表現する子供たちの育成
～ICT機器の効果的な活用を通して～

思考を深める

表現を豊かにする

場面

①思考×場面 分科会

心が動き出す情報との出会い

- ・共通点や相違点からの気づき
- ・気づきの共有による学習の見通し

③表現×場面 分科会

つながりから自己の学びを深める

- ・目的意識、相手意識の明確化
- ・「人・もの・こと」との出会い

方法

②思考×方法 分科会

目的に合った情報の整理

- ・目的に応じた思考法の具体化
(比較・関連付け・分類・順序)
- ・アナログも含めた思考法の選択

②表現×方法 分科会

見たくなる・知りたくなる表現の選択

- ・単元全体を見通した学習計画
- ・様々な表現方法の試行

研究仮説

子供たちの思考の流れに沿ってICTを効果的に活用することで、子供たちが考えを深め、豊かに表現することができるようになるだろう。

見えてきたのは

「思考する瞬間・表現する瞬間」が

子供たちの中にそれぞれある、ということ



過去2年間の
14実践を集約・分析

